

教 育 民 生 常 任 委 員 会 報 告 書

会 議 日 時	平成２４年 ６月１５日（金） 午後１時００分 ～ 午後４時００分			
会 議 場 所	○議員控室 ●委員会室 ○現地（場所： ） ○			
出 席 者 数	委員 ６ 名のうち出席者 ６ 名			
出 席 委 員	委 員 長	田邊哲夫	委 員	山上利嗣
	副委員長	吉村アツ子	委 員	中屋康
	委 員	酒井祥成	委 員	緒方正綱
欠 席 委 員				
事 務 局				
説 明 者	教育次長	岡 澄子		
傍 聴 者				
付 議 事 件	陳情 24-17 放射能による内部被曝から子どもたちを守るため食品の放射能測定			
	器導入を求める要望書			
審 査 ・ 調 査	教育次長（岡氏）の出席を求め、教育委員会としての見解を聞いた。教育委員会と			
	しての統一した見解は出していないが、四万十町の食材は重量ベースで８７％が西日			
	本で生産されたものを購入している。くだものでは外国産も購入している実態もあ			
	る。県内にはまだ、給食センター独自で測定器を導入している自治体はないと聞くが、			
	四万十市では簡易の測定器を導入する予定。委員からは測定器を導入すれば不安を			
	助長するのではないか。又高額な測定器は広域で購入すればなどの意見が出された			
	が、採決の結果全員一致で採択すべきものと決定した。			
反 対 意 見	なし			
報 告 日	平成２４年６月１９日（火）	委 員 長 署 名	田邊 哲夫	

教育民生常任委員会

【委員会審査経過報告書】

件 名：（陳情第 24-17）放射能による内部被曝から子どもたちを守るため食品の放射能測定器導入を求める要望書

○教育次長の説明では、高額な測定器は 1 台 1, 5 0 0 万円で設置費を含むと約 2, 0 0 0 万円が必要となる。検査をするには 1 名の検査員と 1 検体に 30 分以上がかかる。県下には県に 2 台と高知市に 1 台が導入されている。

○測定器を導入することにより、よけいに保護者が不安になるのではないか。

○食材の検査を購入前にチェックすれば良いのではないか。もし、給食センターで測定し、放射能が検出すれば、その日の食材はどうなるのか。

○生産段階でのチェックが必要ではないか。

○高額な測定器は広域で購入し、検査すれば良いのではないか。すでに生協は検査をし、消費者に提供している。

などの意見が出されたが、測定器導入そのものには反対の意見は出ず、採決の結果、全員一致で採択すべきものと決定した。